

### ひとりごと 1

高校時代は夢がありましたので（今もですが！）数学はそれなりに勉強したつもりです。だから数学の成績だけは学校の中ではそこそこ良かったと言えるんじゃないかな！？

でもね、今となってはよい思い出ですが、高3の1学期に“不思議と”数学で赤点を取ったことがあったんです！？ 汗 赤点って本当に数字の横に赤い点がついているんですよ！ 取ったことのある人にしかわかりませんよね！？ 笑 まあ、人間何でも経験しておかないと・・・！ 汗

とは言ってもね、やはり高校3年のとき、模擬試験の数学で偏差値38を取ったときは焦りましたね！ 友人との会話の中で一人が、「偏差値って40以下ってないんだよな！？ まずそんなヤツいないと思うけどさぁ！？」と、私にふってきたんですよ！ 汗 仕方なく「そんなの当然だろぉ～！ 偏差値30台なんてあるわけないじゃん！」と私（当然冷や汗ダラダラ・・・）。

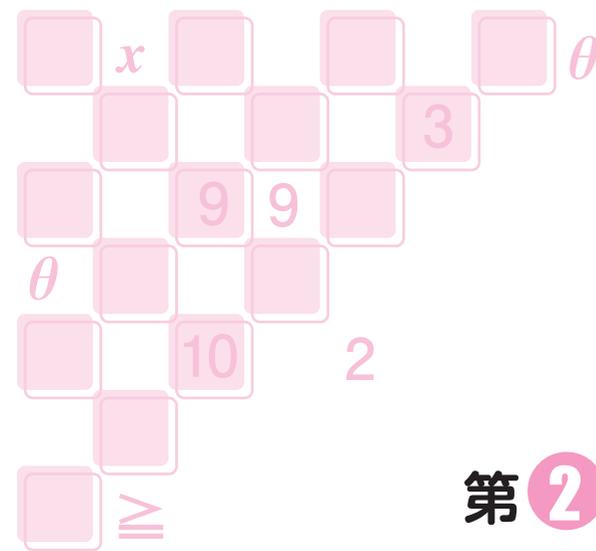
でもね、その後も高校の定期試験ではそれなりに良い成績が取れるので、あの偏差値38は何かの間違いだ、都合よく思い込んで徐々に記憶がうすれていっちゃったのね！ なんて幸せな男！

中学編を読まれている方はご存知のように、その行き着いた先が、大学入試本番で大問4題を目の前に、2時間何もできずに白紙答案の提出！

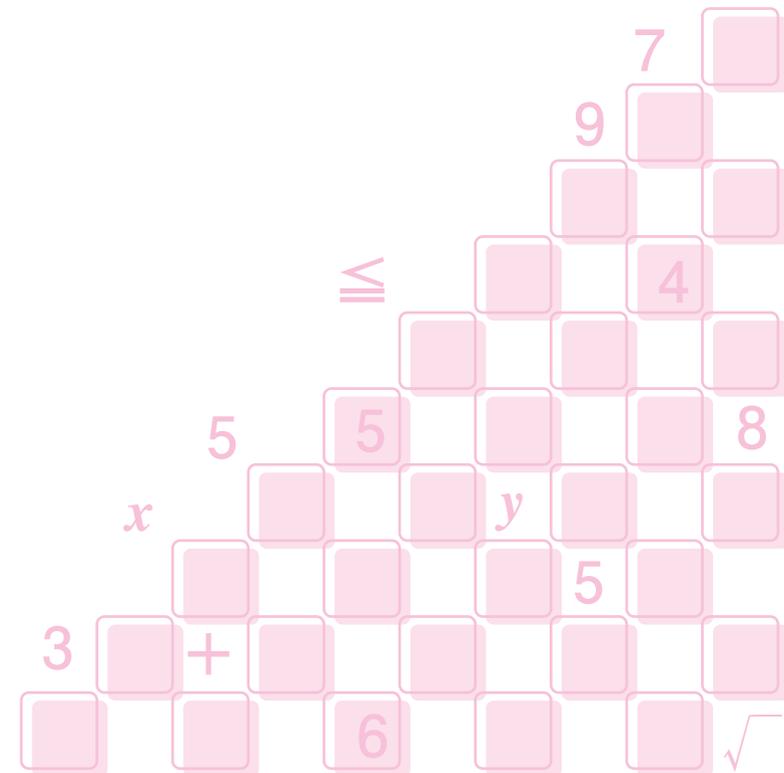
笑うしかない・・・

その後、紆余曲折を経て、当時、数学の神様と言われた“ナベツグ先生（渡辺次男氏）”のところへ意を決してお願いに行くわけ！ しかし、やはり現実には甘くなかった・・・！ 涙 大変厳しい先生でした（その辺のことは中学編で書きましたので！）。とにかく、数学の勉強は大変なんですよ！

でもそれがあったからこそ今があるんです。だからみなさんも負けないで！ コレを読んで人間やる気になればなんとかなるもんだと思ってくださいね！ 笑



## 第2話 数と式



## I 整式

長らくお待ちいたしました！笑 待望の高校数学へと今から入っていくわけですが、みなさん、心の準備・頭の準備はできていますか？ここは無駄話はなしにさっそく高校数学・数学Iのお話に入っていきたいと思

います。ナニをそんなに焦っているの!?「イヤァ～、高校数学が始まるからウレシクテネ!」  
まずは、今後数学を勉強していく上で基本となる“**整式**”のお話からのスタートです！実は、この“**整式**”は、中学2年の最初に勉強してるんですね。ちなみに**カタスウ**の中学編では「式の名前」という項目でお話しています。**数学辞典**などで“**整式**”と引くと「**多項式**」のたった一言。アチャ～！でも、まったくその通り！しかし、初心者の我々にとっては「そう言われてもねえ～・・・涙」  
うん！うん！

ただ、先ほどお話ししたように、中学2年で勉強したことですから心配はいりません。では、今一度ていねいにお話ししますからね！  
ホッ！

## 単項式とは？

\* **単項式**：いくつかの“**数字**”や“**文字**”の積(かけ算)で表されている式  
「どうですか？」この説明でイメージが湧いてきますか？たぶん、少し無理があるかな!? 悩んでしまった人がいたらゴメンナサイ！  
では、具体的に表してみますよ。

## [ 単項式の例 ]

$$\cdot -2 \quad \cdot a \quad \cdot 7xy \quad \cdot -x^2y^3 \quad \cdot \frac{p}{3}$$

今度はいかがですか？上の赤枠の式が**単項式**の代表的な形。でも、何人かの方ははじめの2つ[**-2**と**a**]に関しては、納得できないようですね？  
うん・・・

たぶん「**文字と数字両方の積で表されていないといけない!**」と思いついてるのではないのかなあ～・・・？  
まったく、その通りです!!  
「ハイハイ! ヤッパリネ! 十分納得できますよ!」

でもね、今一度よ～く読んでみて!「いくつかの“**数字**”や“**文字**”の積」とは書いてあるけれど『**数字と文字の積**』とは言っていませんよ!

ナニナニ・・・?

よって、“**数字**”と“**文字**”との間の助詞が“**や**”であるから、例のように単独の**数字**や**文字**だけでも**単項式**と呼べるんですね! なるほど～・・・

あと、念のために触れておかなければいけないことが!

エ～ト、つぎの形は一見“**単項式**”に見えますが、実は違いますので勘違いしないでくださいよ!!

$$\cdot \frac{3}{p} \quad \text{う～ん・・・ ナンデなんだあ?}$$

単項式のように見えるのは私だけ? ショック! 汗

「そうだよね! 見た感じは**単項式**のように見えますもんね!」でも、今一度**単項式**の意味を思い出してください。

「**単項式とは、いくつかの“文字”や“数”の積で表された式!**」

では、上の“**単項式もどき(?)**”を少レイジッテみましょうか!?

$$\begin{aligned} \cdot \frac{3}{p} &= 3 \times \frac{1}{p} \\ &= 3 \div p \end{aligned} \quad \text{アリヤマア～・・・! 割り算が現れたぞ!}$$

「そうなんですよ! この“**単項式もどき**”は、[(**数字**) × (**文字**)]の“**かけ算**”ではなく、実は[(**数字**) ÷ (**文字**)]の“**割り算**”なんですね。だから、この分母に文字がきているこの形は**単項式**とは言えないんです! 納得していただけましたでしょうか? ウンウン! ナルホドォ～!

「ふう～・・・、よかった!」

では、これぐらいで**単項式**の説明は終わりとし、さっそく2つお話ししなければいけないんですね! それは、①**次数**、②**係数**について!

ナァ～ンダ! 驚かさないでよ! まったく～!

何人かの人はずっと「ナァ～ンダ!」と思ったはず? 「違います?」